

府県間移動自粛解除に伴う今後の方針

令和2年6月19日

京丹波町新型コロナウイルス感染症対策本部

1 はじめに

国において求められていました北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県との移動自粛が6月18日をもって解除されました。

町民の皆様におかれましては、今後においても新しい生活様式に基づき、感染拡大の防止にご協力をお願いします。

2 町民等に対するお願い

(1) 外出等の行動について

- ・引き続き不要不急の外出を避けていただき、感染拡大の防止にご協力をお願いします。

- ・国の専門家会議で示された感染拡大を予防する**新しい生活様式**の定着に向けての取組をお願いします。

(別紙1「**新しい生活様式の実践例**」参照)

(2) 催物（イベント等）の開催について

- ・イベントの開催にあっては、京都府から示された**段階的な緩和の目安**に従って下さい。

(別紙2「**イベント開催制限の段階的緩和の目安**」参照)

- ・少人数での集会、イベント等であっても、適切な感染防止対策を実施して行うようにして下さい。

3 事業者等に対するお願い

引き続き、在宅勤務（テレワーク）、時差出勤など人との接触を低減する取組の推進をお願いします。

また、職場や店舗等に関して、業種ごとに策定される感染拡大予防ガイドライン等を踏まえ、感染拡大防止のための取組を適切に行っていただきますようお願いいたします。

4 町主催イベント及び町施設の使用について

・町主催イベントについては、屋外・屋内を問わず、原則として感染状況、開催規模、会場等から判断します。

※現在、中止等を決定しているものは次のとおりです。

- ・ **タウンミーティング** 会場での開催は行わず、CATV を活用して行ないます。
- ・ **京丹波食の祭典** 開催を中止します。
- ・ **京都丹波ロードレース** 開催を中止します。

・ 体育館やグラウンド、公民館など町の管理施設については、各施設ごとのガイドラインを遵守の上、ご利用いただきます。

なお、小中学校の体育館・グラウンドは、引き続き当面の間、使用を中止いたします。

5 町立学校等の休業等

小中学校

第1学期終業式 7月31日（金）

夏休休業期間 8月1日（土）から17日（月）

第2学期始業式 8月18日（火）

幼稚園は通常どおり（7月20日終業式、9月1日始業式）

6 庁内体制等

・新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、引き続き取り組んでまいります。

7 その他

・国や京都府からの給付金や支援金などを町民の皆様や事業者の方々に迅速かつ確実に届け、家計や事業所の支援をします。また、融資や納税、支払いに関する情報など、町のホームページや文字放送、告知放送、お知らせ版など様々な媒体を活用して、情報を提供いたします。

・国や府の緊急経済対策と併せ、町独自の支援策を活用し、町民の皆様の生活や雇用の維持を図ります。

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）** 空ける。
- 遊びにいくなら**屋内より屋外**を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、**症状がなくてもマスク**を着用
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に**洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒**
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「**3密**」の回避（**密集、密接、密閉**）
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 名刺交換はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

イベント開催制限の段階的緩和の目安（その1）

資料 6 - 1

- 「新しい生活様式」に基づく行動。手指消毒やマスク着用、発熱等の症状がある者は外出等を避けるなど、基本的な感染防止策の徹底・継続。イベント主催者や出演者は「業種別ガイドライン」等に基づく行動、参加者の連絡先把握、接触確認アプリの周知、イベント前後の感染対策（行動管理含む）の呼びかけ。
- 感染拡大の兆候やイベント等でのクラスターの発生があった場合、イベントの無観客化や延期、中止等も含めて、国と連携しながら、都道府県知事が速やかに協力を要請。その際、専門家によるクラスターの発生原因やそれへの有効な対策等に関する分析を出来る限り活用（業種別ガイドラインの改定にも活用）。緊急事態宣言が出た場合、対策を強化。
- 今後、感染状況等に変化がみられる場合、段階的解除の目安の変更や必要な対策等を通知。

< 基本的な考え方 >

時期		収容率	人数上限
【移行期間】 ステップ① 5月25日～	屋内	50%以内	100人
	屋外	十分な間隔 *できれば2m	200人
ステップ② 6月19日～ *ステップ①から約3週間後	屋内	50%以内	1000人
	屋外	十分な間隔 *できれば2m	1000人
ステップ③ 7月10日～ *ステップ②から約3週間後	屋内	50%以内	5000人
	屋外	十分な間隔 *できれば2m	5000人
【移行期間後】 感染状況を見つつ、 8月1日を目途 *ステップ③から約3週間後	屋内	50%以内	上限なし
	屋外	十分な間隔 *できれば2m	上限なし

(注) 収容率と人数上限でどちらか小さい方を限度（両方の条件を満たす必要）。

イベント開催制限の段階的緩和の目安（その2）

○ イベント主催者は、特に、**全国的な移動を伴うものには格段の注意**。 イベント参加者は、自身が感染対策を徹底していても、感染リスクはあることに留意。 また、**発熱等の症状がある者はイベントに参加しない**（無症状で感染させる可能性も）。

<具体的な当てはめ>

時期	コンサート等			展示会等		プロスポーツ等 <small>(全国的移動を伴うもの)</small>		お祭り・野外フェス等	
	全国的・広域的	地域の行事							
【移行期間】 ステップ① 5月25日～	○ 【100人又は50%<small>(注)</small> （屋外200人）】 * 密閉空間で大声を発するもの、人との間隔を十分確保できないもの等は 慎重な対応 、管楽器にも注意	○ 【100人又は50%】 * 入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は 慎重な対応	×	×	×	×	×	△ 【100人又は50% （屋外200人）】 * 特定の地域 からの来場を見込み、 人数を管理 できるものは可	
ステップ② 6月19日～ * ステップ①から約3週間後	○ 【1000人又は50%】 * 密閉空間で大声を発するもの、人との間隔を十分確保できないもの等は 慎重な対応 、管楽器にも注意	○ 【1000人又は50%】 * 入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は 慎重な対応	○ 【無観客】 <small>(ネット中継等)</small> * 無観客でも 感染対策徹底 、主催者による 試合中・前後 における 選手等の行動管理	×	×	×	×		
ステップ③ 7月10日～ * ステップ②から約3週間後	○ 【5000人又は50%】 * 密閉空間で大声を発するもの等は、 厳格なガイドライン による対応 * GoToキャンペーン による支援（7月下旬～）	○ 【5000人又は50%】 * 入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は 慎重な対応 * GoToキャンペーン による支援（7月下旬～）	○ 【5000人又は50%】 * 感染対策徹底 、主催者による 試合中・前後 における 選手・観客等の行動管理 * GoToキャンペーン による支援（7月下旬～）					○ * 特定の地域 からの来場を見込み、 人数を管理 できるものは可	
【移行期間後】 感染状況を見つつ、 8月1日 を目途 * ステップ③から約3週間後	○ 【50%】 * 密閉空間で大声を発するもの等は、 厳格なガイドライン による対応 * GoToキャンペーン による支援	○ 【50%】 * 入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は 慎重な対応 * GoToキャンペーン による支援	○ 【50%】 * 感染対策徹底 、主催者による 試合中・前後 における 選手・観客等の行動管理 * GoToキャンペーン による支援					△ 【十分な間隔】 （できれば2m） * 感染状況を踏まえて、判断。	

(注)どちらか小さい方を限度。他の場合も同様。